

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動スペースは十分に確保されているか	<input type="radio"/>			規定に則り、対応している。安全に留意しながら、リスクマネジメントも行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基本人数+1人。全員、正職員。職員は全員有資格者である。
	③	事業所の設備はバリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			玄関に段差があり、簡易スロープを準備し車椅子での来所にも対応している。トイレにも手すりがあり、電動車いす利用者も対応出来た。
業務改善	④	業務改善を進めためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			朝の朝礼・月1回の会議で利用者の情報や意見交換や振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎年12月に保護者等向けアンケート調査を実施。意向を把握し毎年HPに公表している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	<input type="radio"/>			HP上に専用ページを開設し、公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		NPOや他の事業所、運動指導の見学希望者などの受け入れを行い、いつも評価される視点を持ち、ご意見を頂いている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			事業所内研修と共に、個人的に参加してみたい研修などに積極的に参加してもらっている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			口答だけでなく、日々の様子を直接保護者や子どもと相談し、ニーズの抽出を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			アセスメントシートを使い、アセスメントしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			<input type="radio"/>	活動については子どもが主体で行っている。その中で個をアセスメントし、今に合わせて対応している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			子どもが主体で、今に焦点があたるため、固定化する事はない。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			常時、個々に合わせて、課題設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		個別活動で得た自信を基礎に、集団指導で取り組む力を養っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			利用する子どもの指導の担当を決め、役割分担を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		指導終了後に、感想・気づき・保護者からの連絡などを話し合い、共有化している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			個々の指導記録を記入し、職員間で共有できるようにしている。保護者からの連絡事項なども情報共有として紙面化して記録している。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			保護者が指導現場に同席されるので、指導後の振り返り時などで、会話を通して聞き取り調査を行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	<input type="radio"/>			ガイドラインの基本活動におさえながら、支援を行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者送迎の為、学校の連携は担当者会議、又は不登校児の場合は学校への確認の為に連絡をして、連携を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		保護者と確認し、必要ならば主治医等との連携を整えて対応する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者の同意が必要な為、こちらから積極的には関わっていないが、幼稚園等からの希望があれば、保護者了解の元、見学受け入れを行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○		今後、対象児童が出てきた場合、保護者の同意があれば移行先への情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		主催研修や講習会など積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○	個の力を育む事を目的にして指導に当たっているため、一緒に活動する前提としての活動は現在設けていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者と直接話しながら、今の状況を確認する事が出来ている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		他団体と連携しながら、保護者に対する支援の幅を持ちつつ、スタッフのスキルアップにもつながっている。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明させて頂いている。利用者負担の変更時は、その都度一人ひとりに説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の指導時に保護者と話ながら、悩みなどを共有して、必要な機関があれば、繋げる事をして事業所での抱え込みではなく、連携の中での支援を心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度は保護者も含めた勉強会「トークな時間」を月一回開催した。
	33	子どもと保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		職員、法人で連絡周知し、対応している。迅速な当日対応を行っているが、翌日持越しなどの場合は情報を整理するなど、子どもや保護者に適切な対応ができるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	毎月頭に情報連絡などを行っている。会報等については今後、発行していく予定。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		必要最低限な情報に配慮している。保護者との会話の中でも個人情報の配慮に注意していく。
非	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		経路の説明などに写真を設けて、視覚的にわかりやすいものを作成。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域のお祭りなどの情報を事業所内で発信するなどの、情報発信を積極的に行っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	職員に対して、研修等で周知を行っている。緊急時対応はかかりつけ医がいる場合など個別で相談。その他マニュアルは策定している。

常時等の対応	39	非常災害の発生時に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			緊急避難訓練を事業所内で行っている。避難場所までの経路の確認、危険と思われる場所の確認、避難バッグの確認など。マンションの防災訓練に参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			人権研修を受けた児発管からの伝達講習をおこなった。その他各種研修会に積極的に参加してもらい、学びを深めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			<input type="radio"/>	保護者送迎のため、保護者の目の前で指導を行っている。身体拘束を行う場面がない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			<input type="radio"/>	おやつ・食事の提供は行っていない。
	43	ヒアリング事例集を作成して、事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			ファイリングして、事業所内で共有している。